

令和4年度がん対策事業について

I 予防の強化と早期発見の推進

1 がんにかからない生活習慣の確立

(1) 働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業

主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、楽しみながら継続して健康づくりに取り組む環境を整備するもの

② (2) つながる健康プロジェクト

「健康を次の世代につなげる」ことをコンセプトに、世代間で健康づくりを支援する富山県を目指すため、働き盛り世代向け「ウォーキングファンドキャンペーン」や、学生向け「つながる健康キャンペーン」、同世代に広げる「若者会議」を開催



(3) 野菜をもう一皿！食べようキャンペーン

「野菜の日」（8月31日）を契機として、家庭における野菜摂取の目標（1日350g）の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進の普及・啓発を実施



② (4) おうちで減塩キャンペーン

県民の塩分摂取量の減少に向け、調味料メーカーやスーパーと連携した減塩セミナーを開催するとともに、セミナー参加者が家庭で実践した成果を基に、スーパー店頭等での情報発信を行い、減塩商品利用へのきっかけをつくるキャンペーンを実施



② (5) ぐっすりとやまプロジェクト

メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを高めるといわれる睡眠不足等の解消に向け、「睡眠の日」（9月3日）を契機としたシンポジウムや、チーム対抗で睡眠の改善に取り組むキャンペーン、企業・団体向け出前講座を実施



(6) たばこ対策

① 禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

(a) 世界禁煙デー・受動喫煙防止啓発ポスターの配布、掲示

(b) 普及啓発物品の配布・貸出し

・受動喫煙防止リーフレット

・タペストリー（世界禁煙デー、受動喫煙防止、受動喫煙防止ステッカー紹介）

・のぼり旗 ・ビブス

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

② 禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介（一般社団法人日本禁煙学会ホームページへのリンク）

③ 受動喫煙防止対策

令和2年4月1日から全面施行された改正健康増進法の円滑な運用のため、情報連絡会等の開催や、周知啓発、体制整備を行っている。

- ・改正健康増進法の周知用リーフレットの配布や受動喫煙防止啓発物品の配布
- ・喫煙専用室等の基準適合性に関する相談指導のための測定機器を各厚生センターに配備



(7) 肝炎対策

① 広報・報道等

肝臓週間(7月25日～31日)に併せて、県内包括連携協定企業の日本郵便211局でのポスター掲示等により、肝炎を正しく理解するための普及啓発を実施
また、令和4年7月30日には、日本肝臓学会が「肝がん撲滅フォーラム2022」等を開催

② 職域における肝炎ウイルス検査受検勧奨の実施

健康増進センター(R4.6月)と北陸予防医学協会(R5.1月予定)において、健康診断を受診された方に肝炎ウイルス検査の受検勧奨を実施

③ 肝炎ウイルス検査の実施

県厚生センター及び富山市保健所と県内63の委託医療機関において肝炎ウイルス検査を実施

④ 肝炎重症化予防の推進

県内市町村や厚生センターにおける肝炎ウイルス検査の陽性者に対し、精密検査や定期検査の実施状況等を確認し、未受診者には受診勧奨を実施
また、市町村や県が実施した肝炎ウイルス検査や職域健診、妊婦一般健診、手術前検査にて陽性となった方が、医療機関で初めて精密検査を行った場合に、精密検査費用を助成

⑤ 肝炎医療費の助成

(a) 肝炎治療特別促進事業（所得に応じて自己負担額1万又は2万円）

抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、及び核酸アナログ製剤治療）に係る医療費を助成

(b) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（自己負担額1万円（所得制限あり））

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変治療のために医療費の自己負担額が高額療養費を超えた月が年3か月以上ある場合に医療費（入院および一部の外来医療費）を助成。

⑥ 肝炎医療コーディネーター研修会の開催

(a) 富山県肝炎医療コーディネーター養成研修会

・地域で中心となり、肝炎に対する正しい知識や肝炎ウイルス検査の受診勧奨等を支援する人材を養成

(b) 富山県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会

・肝炎医療コーディネーターの資質の向上と役割の理解を促進

2 がんの早期発見体制の強化

(1) がん検診受診に関する普及啓発

① がん協定締結企業とのがん検診受診率向上コラボレーション事業

がん検診の受診率向上のため、がん協定締結企業（18社）と連携した啓発事業を実施。

「がん検診受診促進週間」を新たに設け、統一的な啓発活動を集中的に実施。

(1) 期間 令和4年8月29日（月）～9月4日（日）

(2) 啓発活動の内容

- ・マスクへの啓発シールの貼付
- ・自動車用マグネットによる周知啓発
- ・リーフレットによる周知啓発

【啓発マスク（ワンポイントシール）】



R4年度 がん協定締結企業とのがん検診受診率向上コラボレーション事業の活動風景

② 啓発イベントの実施

各種のイベントを活用した啓発活動を実施

- ・がん征圧月間～ピンクリボン月間
- ・「越中とやま食の王国フェスタ 2022 秋の陣」において、がん検診啓発用ブースを設置して普及啓発を実施予定

日時：令和4年10月29日（土）～30日（日）（予定）

場所：テクノホール（富山産業展示館）

内容：がん検診啓発ブースを設置し、がん検診啓発のパネルやパンフレットを配置



がん検診受診促進シンボルマーク

R3年度 がん検診啓発用ブースの様子

(2) 市町村のがん検診受診率向上に向けた取組み

① 節目検診・重点年齢検診推進事業

市町村の節目年齢検診（5歳毎）や重点年齢検診（胃がん：50代のうち節目を除く2回、乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における自己負担額の軽減を支援するもの。

② がん対策推進員活動支援事業

市町村が養成している、がん対策推進員等の健康づくりボランティアの活動を支援。市町村におけるがんに関する知識の普及啓発とがん検診の受診を促進

(3) 職域におけるがん検診受診率向上のための取組み

① がん検診受診率向上出前セミナーの実施

健康経営を念頭においた企業のがん検診受診率向上を目指し、企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に県が講師を派遣し、企業におけるがん対策の推進を図るもの。

※講演テーマは、①がん全般に関すること（予防や検診、治療など）、②仕事と治療の両立支援に関すること、③がん対策に取り組む企業の好事例等に関すること、④がん経験者やその家族による体験談等

【R4年度実績】

日時：令和4年7月21日(木)

場所：富山県経営者協会 研修室

内容：講義1：がん全般に関すること

講師 富山県健康増進センター所長 能登 啓文氏

講義2：がん対策に取り組む企業の好事例～アフラックの事例から～

講師 アフラック生命保険株式会社 人財戦略第二部健康推進室長

佐柳 みすず氏

参加者：36名（経営者協会会員企業の人事労務担当者等）



R4年度 出前セミナー

② がん予防推進員による普及啓発

「がん対策の推進に関する協定」締結企業（18社）の社員を対象に、がん検診の重要性をPRするがん予防推進員を養成（令和3年12月時点648名）

(4) 女性がんの予防・早期発見に向けた普及啓発

① 施設のピンクライトアップ

10月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施

実施場所：富岩運河環水公園、インテック本社ビル（株式会社インテックによる実施）

② 啓発活動

- ・10月のピンクリボン月間に併せて啓発物品や県作成リーフレット等を作成し、関係機関へ配布
- ・県ホームページや県SNSを活用した普及啓発



R4年度 環水公園のライトアップ風景

(5) 県立図書館とのコラボによるがんに関する展示

県立図書館で今年度9月6日（火）～10月2日（日）に実施された「フレイル予防」の展示において、がんに関する展示として県作成のパンフレットや市町村作成の健（検）診カレンダーを展示し、がん検診受診促進に関する啓発を実施。



R4年度 がんに関する展示の様子(フレイル予防に関する展示の一部)

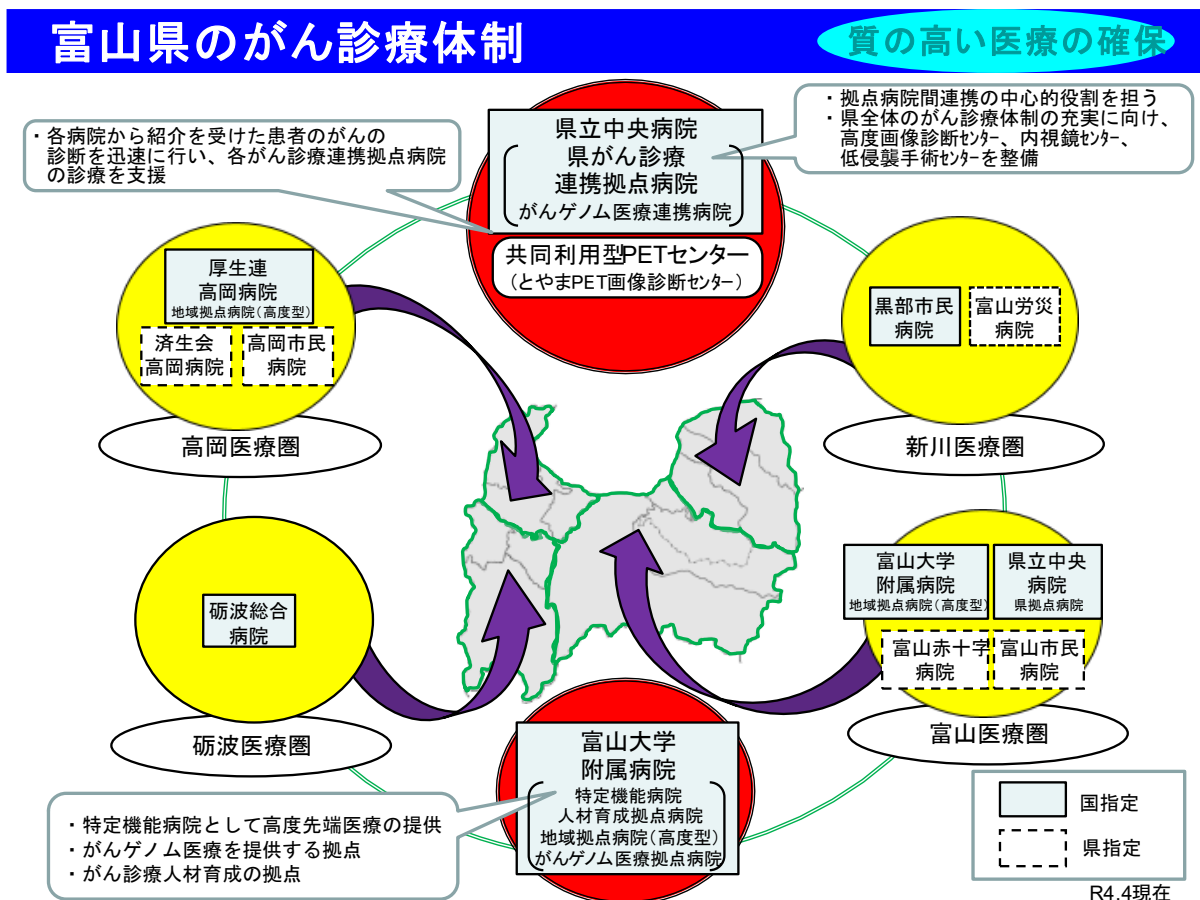
Ⅱ 質の高い医療の確保

1 質の高い医療が受けられる体制の充実

(1) 富山県のがん診療体制の強化

- ① 本県では、医療圏毎の医療機関が連携して、限られた医療資源及び機能を相互補完している。具体的には、研修会の開催等の人材育成やがん情報の収集と発信等を始めとする患者支援体制の構築に複層的に取り組むことにより、県内の各病院の機能を“点”から“面”として機能させ、県全体のがん医療水準の向上を図っている。
- ② 専門的な機能としては、県がん診療連携拠点病院である県立中央病院と特定機能病院の富山大学附属病院が、2次医療圏の地域がん診療連携拠点病院と連携し、難治性がん、特殊ながん、小児がん等の治療に対応している。また、富山労災病院はアスベストによる悪性中皮種等の診断を行っている。
- ③ がんゲノム医療を提供する医療機関として、富山大学附属病院が「がんゲノム医療拠点病院」に、富山県立中央病院が「がんゲノム医療連携病院」に指定されている。

(参考 富山県のがん診療体制)



(2) がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

認定看護師の育成支援

※県内のがん5分野における認定看護師数 94名 (R3.12月現在)

(3) がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

がんゲノム医療拠点病院である富山大学附属病院や、がんゲノム医療連携病院である富山県立中央病院において、がんゲノム医療が提供できる体制が整備されている。

2 調査・研究の推進

平成25年12月に公布された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」※を平成28年1月1日から実施している。

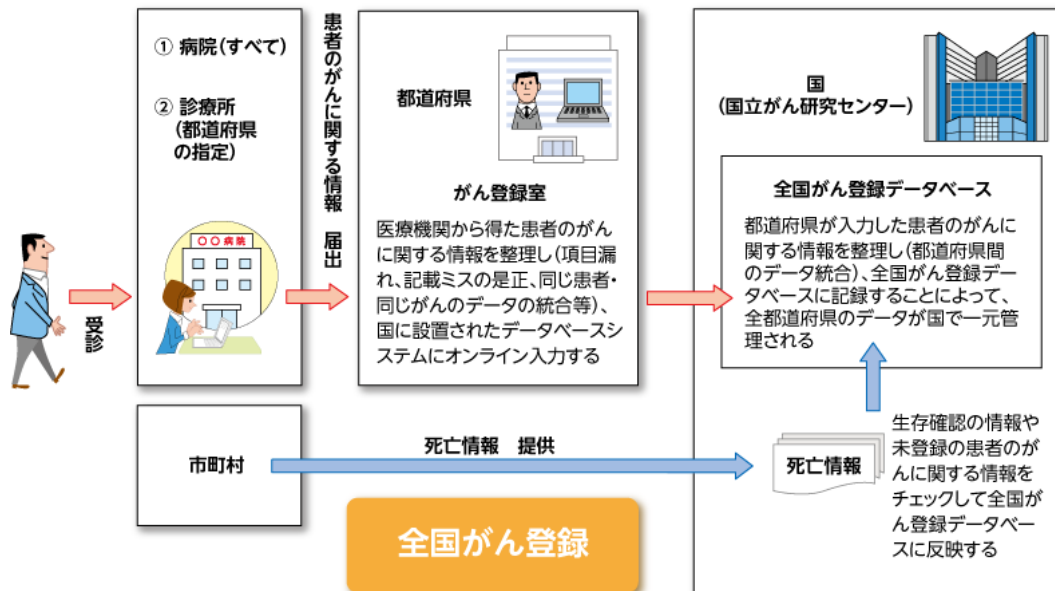
※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

(1) 全国がん登録による罹患数(2019年)

富山県罹患数：9,674※¹ 全国罹患数：999,075※¹

※1 上皮内がん除く(出典：厚生労働省「平成31年(令和元年)全国がん登録 罹患数・率報告」)

【2016年1月から開始した全国がん登録の仕組み】



出典：国立がん研究センターホームページ がん情報サービス

Ⅲ 患者支援体制の充実

1 がん患者の支援体制の充実

(1) 富山県がん総合相談支援センターの運営

がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として、がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応している。

業務：①相談：平日9時～16時 土13時～16時

②情報提供

③ピアサポーター養成・育成・活動支援

④患者等の交流支援 等

相談員：看護師により対応

がん相談支援センターにおける事業

	令和4年度の事業内容（予定含む）
相談	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応 ・働く人の日曜相談会（年2回）
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の見覧、貸出等 約400冊（雑誌含む） 小冊子（約100種類） ・県立図書館企画展示「がんに関する展示」 ※がん総合相談支援センター活動紹介、市町村のがん検診カレンダー 展示・配布 ・「がん情報とやま」の改訂支援 ・がん相談員によるヘルスボランティア等への講演
がんピアサポーター活動 養成・育成 活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成講座9回（6名参加） 活動登録者113名（R4.4月現在） ・ピアサポーターフォローアップ研修（年4回） ・ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）12回 毎月第4土曜日 13:30～15:30 ②拠点病院等（患者サロン） 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合、富山労災、富山赤十字、富山市民、済生会高岡、高岡市民、厚生連滑川にて実施 ③AYA世代交流サロン「Friend」：5回 ④グリーフケアの会（6回開催） ⑤がん教育での講師 小中学校、高等学校において、自らの体験と命の大切さを語る講演会等の講師 等 ⑥がんピアサポーターによる講演 ※がん検診受診率向上出前セミナー ※健康づくりボランティア等への講演
講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代の講演会公開トークセッション R4.10.15（土）
患者会支援	<ul style="list-style-type: none"> ・随時（患者会代表者との連携）
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院相談支援部会への参画 ・拠点病院相談員情報交換会開催 ・拠点病院相談員研修会に参画 ・国・県の労働関係部局との連携

(2) 小児・AYA世代の公開トークセッション(再掲)

小児・AYA世代(思春期世代と若年成人世代)のがん患者支援のための公開トークセッションを開催

日時: 令和4年10月15日(土) 14:00~16:00

場所: 富山県総合福祉会館 福祉ホール

対象者: AYA世代のがん患者及び家族、治療にかかわる保健・医療・福祉関係者等

内容: 公開トークセッション

「小児・AYA世代がん患者の声を聴く～知ってほしい私たちのこと～」

コーディネーター: NPO 法人がんノート 岸田 徹氏

ゲスト: がん体験者 吉田 千恵氏

がん体験者 紙 雄規氏

富山県立中央病院 医療局長 酒井 明人氏

市立砺波総合病院 がん看護専門看護師 平 優子氏

④ (3) 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療に係る治療費の助成

小児・AYA世代のがん患者等について、一定の要件を満たした場合には妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療にかかる医療費の一部を助成

① 妊孕性温存療法に係る医療費助成

助成対象費用は、妊孕性温存療法に要した医療保険適用外費用の額

対象治療
胚(受精卵)凍結、未受精卵凍結、卵巣組織凍結、精子凍結、精子凍結(精巣内精子採取術)

【実績】R3年度: 10件

② 温存後生殖補助医療に係る医療費助成 ※R4年度より助成対象に追加

・助成対象費用は、温存後生殖補助医療に要した医療保険適用外費用の額

対象治療
妊孕性温存療法で凍結した胚(受精卵)を用いた生殖補助医療
妊孕性温存療法で凍結した未受精卵凍結を用いた生殖補助医療
妊孕性温存療法で凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療
妊孕性温存療法で凍結した精子を用いた生殖補助医療

※各医療の対象者には要件あり

(4) がん・生殖医療ネットワークの構築

④ ① 小児・AYA世代妊孕性温存部会の設置

県内の小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法等に対し、病院間のスムーズな連携による支援体制構築のため、県がん診療連携協議会にR4年度から「小児・AYA世代妊孕性温存部会」を設置

②がん・生殖医療ネットワーク推進研修会

小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法推進に関わる関係者への研修会を開催（富山大学附属病院へ委託）

日時：令和4年7月11日（月）18：30～19：30

場所：富山大学附属病院

（ZOOMも併用したハイブリッド開催）

出席者：小児・AYA 世代のがん治療及び生殖医療に関わる医師、看護師及び相談支援担当者等 33名

内容：講演「がん患者における妊孕性温存とネットワーク」

講師 島根大学医学部附属病院 先端がん治療センター・腫瘍内科
教授 田村 研治 氏

（5）県内10か所のがん診療連携拠点病院における相談支援

① がん相談支援センター相談実績 6,529件（令和3年度）

② 長期療養者就職支援相談窓口の設置（富山労働局・ハローワーク）

富山労働局、富山ハローワーク等とがん診療連携拠点病院と協定を締結し、拠点病院等において、出張相談窓口を開設し、がん患者等の再就職を支援している。

開設場所：県立中央病院（平成28年7月～）

富山市立富山市民病院（平成29年3月～）

富山大学附属病院（平成30年9月～）

（6）産業保健総合支援センターと連携した就労支援

産業保健総合支援センターの両立支援員を講師として、がん対策出前セミナーを開催し、がん治療と仕事の両立に関する啓発を実施している。

（7）治療と仕事の両立相談支援

富山労働局の富山県地域両立支援チームに参画し、治療と仕事の両立支援に関する事業等について情報共有している。また、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター等とハローワークが連携し、治療と仕事の両立に関する相談支援を実施している。

（8）がん患者在宅療養支援体制整備事業

① がん患者の在宅療養支援のための事例検討会等の開催（厚生センター）

各医療圏毎において、在宅緩和ケア関係者により在宅がん患者の支援事例について、事例検討会を開催

② がん患者への相談支援の充実に向けた情報の発信

県内のがん情報をまとめ、県HPに掲載

（がん相談窓口、医療や介護等の各種制度、患者会情報、各種問い合わせ先等の情報を掲載）

(9) 乳がん患者活動支援事業

乳がん患者の方々を対象に、治療やがんの体験に基づく講演、交流会等を行い、患者や家族が前向きに病気と向き合っていくことを支援するもの

- ・乳がん患者向け講演会（Web）の開催(予定)

日時：R4年11月27日（日）13:00～15:00

内容：講演Ⅰ「大学病院での乳がん治療と栄養士の関わりについて
－食事相談の実際－」

講師 富山大学附属病院 栄養管理室 管理栄養士

吉田 明浩 先生

講演Ⅱ 「がん治療におけるお食事・栄養管理のポイント」

講師 埼玉医科大学国際医療センター栄養部/NST 事務局 課長補佐

森 ひろみ 先生